

2026年2月25日

各位

株式会社 大垣共立銀行

**OKB SCLAMB×岐阜大学「第3回産学連携交流会“Crouch!”」  
～循環型社会を支える次世代材料・化学プロセスの共創～の開催**

大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は3月23日（月）、国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学（学長 吉田 和弘）と共同で「OKB SCLAMB×岐阜大学『第3回産学連携交流会“Crouch!”』～循環型社会を支える次世代材料・化学プロセスの共創～」を下記の通り開催します。

本交流会では、環境・資源循環・エネルギーといった社会課題の解決に資する「次世代材料・化学プロセス」をテーマに、岐阜大学 工学部 化学・生命工学科 物質科学コースの助教による研究シーズの紹介や先端機器を備える科学研究基盤センターの見学などを実施します。新たな事業発展を望む地域企業と大学研究者との交流により、OKB SCLAMBの重点取組の一つである「地域企業と岐阜大学との共同研究の推進」を目指します。

## 記

## ■概要

タイトル	OKB SCLAMB×岐阜大学「第3回産学連携交流会“Crouch!”」 ～循環型社会を支える次世代材料・化学プロセスの共創～	
日時	2026年3月23日（月）14:00～16:00	
場所	OKB SCLAMB [岐阜市柳戸1番1 OKB岐阜大学プラザ2F (岐阜大学内)]	
内容	【第1部】研究内容紹介 ○岐阜大学 工学部 化学・生命工学科 物質化学コース 助教 加藤 邦彦 氏/助教 水野 翔太 氏/助教 中村 天彰 氏 【第2部】ポスターセッション・名刺交換会 ○各研究者と研究テーマをもとに個別交流 【第3部】ラボツアー ○科学研究基盤センター 機器分析部門	
定員	30名（先着順、1社2名まで）	
参加費	無料	
申込方法	以下の専用ページからお申し込みください <a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScxYEeIoMxG6gesI0_KIaYV-iiXn7G90y-3gpHVby8mnd6Q7w/viewform">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScxYEeIoMxG6gesI0_KIaYV-iiXn7G90y-3gpHVby8mnd6Q7w/viewform</a>	
申込期限	2026年3月18日（水）	
主催	OKB大垣共立銀行、岐阜大学	
お問い合わせ先	OKB大垣共立銀行 法人営業部 高田・土本 TEL:0584-74-2196 メールアドレス: sclamb@okb.co.jp	

以上

Crouchはラグビー用語で、スクラムを組む前の最初の掛け声です。新たな挑戦への準備の場となるようにとの願いを込めて名付けました

## 循環型社会を支える 次世代材料・化学プロセスの共創

岐阜大学の  
研究シーズ発表&ラボツアー

本交流会では、循環型社会を支える次世代材料・化学プロセスの最前線と、産学共創が生む新たな事業機会をご紹介します。さらに、技術課題との接点探索から共同研究・技術相談に向けた論点まで、研究から社会実装・事業化に向けた要点を整理します。材料・化学・製造業はもちろん、新規事業の探索や技術課題の解決に関心のある企業のご参加をお待ちしています。

2026  
3/23 Mon

14:00-16:00

会場  
OKB SCLAMB

定員  
30名

参加  
無料

### 第1部 研究内容紹介

#### ゴミを価値ある資源に

メカノケミカル技術が拓く  
革新的アップサイクルと  
持続可能な資源循環ビジネスの実現

岐阜大学 工学部 化学・生命工学科  
物質化学コース  
助教 加藤 邦彦 氏



廃プラスチックや産業副産物を資源として再生し、環境浄化や水処理、建材などへの展開を目指す研究を紹介します。低コストかつ安全なプロセスにより、廃棄物を新たな製品・事業へと転換する可能性を探っています。

- 自社から出る廃プラスチックや副産物を、新たな製品・事業に転換したい
- 水処理・環境対策・建材などで、環境価値の高い素材を探している
- 低コスト・安全な製造プロセスで、環境関連の新規事業を検討している

#### 反応開発から材料設計まで

資源循環型社会を支える  
サステナブルなモノづくり

岐阜大学 工学部 化学・生命工学科  
物質化学コース  
助教 水野 翔太 氏



バイオマスや廃棄物由来素材を起点に、環境負荷を抑えた有機合成反応と材料設計により、既存材料や製品に新たな機能・用途を付加する研究を紹介します。次の事業の柱となる高付加価値材料の可能性を探っています。

このような課題意識をお持ちの企業の皆さまへ

- 既存材料や製品に、新しい機能や用途を加えたい
- バイオマスや廃棄物由来素材を活かした高付加価値製品を検討している
- 医薬・電子・環境分野などで、次の柱となる材料技術を探している

#### 電解析出法による 電極一体型触媒の創製と プラズマ反応への応用

岐阜大学 工学部 化学・生命工学科  
物質化学コース  
助教 中村 天彰 氏



電極と触媒を一体化した新しい反応プロセスを切り口に、CO<sub>2</sub>活用や水素・アンモニアなど次世代エネルギー分野への応用を探っています。装置設計やスケール展開を見据え、実証や性能高度化につながる可能性を紹介します。

- CO<sub>2</sub>活用、水素・アンモニアなど次世代エネルギー分野に関心がある
- 電極・触媒・反応器など、装置や部材の性能向上・差別化を目指している
- 実証試験やスケール展開を見据え、技術を一緒に磨き上げたい

### 第2部 ポスターセッション・名刺交換会

### 第3部 ラボツアー【科学研究基盤センター 機器分析部門】

科学研究基盤センター 機器分析部門へのラボツアーを実施します。先端分析設備と専門スタッフを備え、企業の技術開発や研究課題の解決を支援する岐阜大学の分析拠点を見学し、先端機器や分析技術の活用イメージをご体感いただけます。



左記専用ページよりお申し込みください  
申込期限/2026年3月18日(水)

主催/OKB大垣共立銀行・岐阜大学

問い合わせ先  
オープンノベーション創出支援拠点「OKB SCLAMB」  
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 OKB岐阜大学プラザ2F(岐阜大学内)  
sclamb@okb.co.jp

